



阿部 和子さん
あべ・かずこ

昭和21年6月17日、仙台市若林区文化町で5人兄弟の末っ子として生まれる。父母は秋田県横手市出身で、父は東北電力の社員。

●南小泉小中学校から仙台市立女子商業高校に進む。卒業後、富士通ゼネラル(現)仙台営業所で勤務。昭和45年に結婚、4人の子どもに恵まれ、古城小PTA会長や仙台市PTA協議会副会長も歴任した。

●仙台藩藩祖、伊達政宗公の曾孫に当たる伊達家4代藩主、伊達綱村公の御廟がある大年寺山の清掃活動や保全、法要などを行っている伊達家御廟大年寺会会長。平成21年から就任。

●平成6年から、仙台味噌を使った全て自然の無添加素材にこだわった味噌漬けを開発、販売に携わる。

●小原流、草月流師範。お茶もたしなむ。詩吟の会の宮城岳風会に所属、同会大年寺教場長

今年は大変に300年遠忌法要を営む
阿部 はい、4月7日には顕彰祈念碑除幕式や植樹式、6月15日には仙台藩志会と一緒に記念講演会、そして亡くなられた6月20日には、300年遠忌法要と食事会の御齋会(おときえ)、記念演奏会などを開催しました。ま

た、綱村公を顕彰する記念誌を上梓、県内の中・高等学校、図書館などに配布しています。阿部 大年寺会の仕事をされたきっかけは何だったのですか。
阿部 戦後に、市民や政界の方々を中心となり、大年寺山と伊達家御廟を守ろうと大年寺保勝会が発足、昭和53年に規約を作り、初代会長に、当時の仙台藩志会会長の伊達篤郎さんになりました。実家が大年寺の檀家だったため、母がお手伝いをしており、私も自然と活動に携わっていたことから、会長という大役をお引き受けさせていたたいております。

大年寺の自然、歴史が好きな方を募集中です
菅原 どなたでも会に入れるのですか。
阿部 山と自然を愛する方、歴史のお好きな方など、どなたでも入れます。現在は

伊達家の末裔の方なども含め51人が会員です。ぜひご入会下さい。
菅原 お仕事のほうは。
阿部 平成6年から、仙台

墓所となっております。
菅原 とても大切な寺院だったんですね。
阿部 当時大年寺は、松島の瑞巖寺と並ぶ規模と格式を誇っていたと言われます。300人も僧侶や20近くの塔頭(たつとう)が存在していたとされています。
菅原 その綱村公が逝去されてから今年でちょうど300年、様々な行事をなされたそうですね。

阿部 戦後に、市民や政界の方々を中心となり、大年寺山と伊達家御廟を守ろうと大年寺保勝会が発足、昭和53年に規約を作り、初代会長に、当時の仙台藩志会会長の伊達篤郎さんになりました。実家が大年寺の檀家だったため、母がお手伝いをしており、私も自然と活動に携わっていたことから、会長という大役をお引き受けさせていたたいております。



仙台女子商業高校時代(上) 前列左から2番目が阿部さん。OL時代(下)

味噌と自然素材にこだわった味噌漬けの加工、販売を行ってまいりました。そのために50歳のときに運転免許も取り、楽しく仕事をしておりました。しかし東日本大震災で三陸からの材料が入らず、継続を断念しました。
菅原 これからの女性のためにメッセージを。
阿部 人との出会いやお付き合い勉強など、すべて人生に無駄はないということを知ってもらいたいですね。
菅原 ありがたいです。いままで、今後も活躍を期待しております。



第34回

清月記 SPECIAL対談 阿部和子さんが語る「女性の生き方」

伊達藩四代藩主、伊達綱村公の御廟のある大年寺山の清掃活動や保全、法要などを行っている伊達家御廟大年寺会会長として活躍する阿部和子さん。会活動や仕事を通し、「人生に一つも無駄はない」と話します。

「人生に一つも無駄はありません」



菅原 裕典 すがわら・ひろのり
1960年宮城県塩釜市生まれ。
83年東北学院大学経済学部経済学科卒業。83年名古屋・中京葬儀社入社。85年3月、父・清一とともにすがわら葬儀社設立。1991年、株式会社すがわら葬儀社の組織変更。2000年工ボックせがわら葬儀社代表取締役。2001年せんだい家工フエム放送取締役。2001年より社会福祉法人 無量壽会理事長就任。2010年株式会社清月記に社名変更。2011年5月認定NPO法人J E T Oみやぎ理事長就任。2015年1月仙台市青葉区木町通「仙台迎賓館「高苑」」運営。2015年7月、国際ロータリー第2520地区ガバナー就任。

伊達家四代藩主、伊達綱村公の御廟、大年寺山墓所を守る
菅原 伊達家御廟大年寺会の会長として活躍されておりますが、どのような活動をしているのですか。
阿部 伊達家四代藩主、伊達綱村公の御廟がある大年寺山の清掃活動と綱村公の墓所の清掃、保存、また法要や伊達家当主からの歴史講話などを行っています。
菅原 伊達政宗公は仙台藩藩祖としてあまりにも有名で国民でも知らない方は少ないと思えますが、綱村公はあまり知られておりませんか。
阿部 前述した通り綱村公は伊達家第四代藩主で、伊達政宗の曾孫に当たります。綱村公は、1659年に三代藩主綱宗公の長子として誕生し、わずか2歳で藩主になりました。その治世は42年間で



伊達家御廟大年寺会の清掃活動(平成8年頃)。現在も年に10回ほど実施している



姪の結婚式で4人の子どもと夫婦とともに

阿部 歴史の話しになりますが、室町時代の応永年間(1394~1428)、大年寺周辺には、栗野大膳大夫の居城・茂ヶ崎城が置かれておりました。四代藩主綱村公の治世になった元禄9(1696)年、この茂ヶ崎の地において綱村公は寺院造営の縄張、畝入を行い、翌10年に黄檗宗(おおぼくしゅう)大年寺として開基しました。以後、歴代藩主の墓所と定められ、ともに非公開ですが、宝華林廟、無尽灯廟がそれぞれ

す。政宗公の事業を引き継いで、経済や学問、文化振興にとても力を入られ、その歴史的足跡は、今の私たちの生活に息づいています。
菅原 具体的にはどのようなことをなされたのですか。
阿部 経済的には、品井沼、長沼などの干拓事業、新田開発、貞山運河の改修などの水運整備、今の榴岡公園の

千本桜、そして堤焼き振興などです。文化的には、塩釜神社、岩手県の毛越寺、中尊寺など寺社仏閣への奇進、伊達治家記録の編纂など、様々な分野にわたりました。専門家に言わせると、当初想像していた以上に、仙台の基礎を作った藩主だということですね。
菅原 その綱村公のお墓が大年寺山にあるのですか。
阿部 伊達家の御廟と言いますと、仙台市の径ヶ峯の瑞鳳殿、感仙殿、善徳殿など有名ですが、実は、九代の宗周公、十一代の斉義公を除いて綱村公の四代以降は、大年寺跡にあるのです。

菅原 市民にとっては、とても歴史と由緒ある大切な場所なのです。私たちは大年寺山とさえ、仙台市野草園などがある市民の憩いの場として知ってはいますが、お寺、御廟のことなどはあまり知る機会がありません。
阿部 歴史的な話しになりますが、室町時代の応永年間(1394~1428)、大年寺周辺には、栗野大膳大夫の居城・茂ヶ崎城が置かれておりました。四代藩主綱村公の治世になった元禄9(1696)年、この茂ヶ崎の地において綱村公は寺院造営の縄張、畝入を行い、翌10年に黄檗宗(おおぼくしゅう)大年寺として開基しました。以後、歴代藩主の墓所と定められ、ともに非公開ですが、宝華林廟、無尽灯廟がそれぞれ



清月記総本社で